

令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

1 要 旨

令和7年度全国学力・学習状況調査は4月17日に実施され、7月31日に結果速報を報道提供したところです。今回、教育委員会や大学教授、保護者代表、校長代表らによる学力向上専門家委員会で協議された内容を踏まえた、成果や課題、今後の取組について報告します。

2 調査を実施した児童生徒数

小学校6年生（4,750人）、中学校3年生（4,439人）

3 調査内容

（1）教科に関する調査（小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科※）

※今後コンピュータを用いたテストの規模、内容を段階的に拡充していくため、今年度は中学校理科でコンピュータを用いたオンラインによるIRTテストを行った。

（2）児童生徒質問調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）

（3）学校質問調査（学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備状況等）

4 教科に関する調査から見られた結果と分析内容

（1）結果

①小学校の国語と算数において、平均正答率が全国と同等でした。中学校においては、国語、数学、理科が全国の平均正答率を上回りました。

小学校の結果

平均正答率	静岡市	静岡県	全国
国語	67	66	66.8
算数	58	57	58.0
理科	55	55	57.1

(%)

中学校の結果

平均正答率	静岡市	静岡県	全国
国語	56	56	54.3
数学	52	51	48.3

(%)

平均 IRT スコア	静岡市	静岡県	全国
理科	522	527	503

また、全国と比べて学力が高い層の割合が多く、学力が低い層の割合が少ないという結果でした。

国語（中学校）正答数	0-5問	6-7問	8-9問	10-14問
静岡市（公立）	18.9	23.8	28.4	28.8
静岡県（公立）	19.0	23.4	28.6	29.0
全国（公立）	22.5	24.2	27.5	25.8

(%)

算数（中学校）正答数	0-3問	4-6問	7-10問	10-15問
静岡市（公立）	19.5	22.8	27.0	30.8
静岡県（公立）	20.5	22.3	27.1	30.1
全国（公立）	23.8	23.3	26.1	27.0

(%)

理科（中学）IRTバンド	1	2	3	4	5
静岡市（公立）	2.4	24.2	42.1	22.7	8.6
静岡県（公立）	2.7	22.8	41.0	24.5	8.9
全国（公立）	4.2	27.3	42.0	20.3	6.2

(%)

IRT テスト…異なる問題を解いても同じ尺度（ものさし）で受験者の能力を比較できるテスト
IRT バンド…IRT スコアを分りやすくするためにいくつかの段階に区分したもの

(2) 分析内容

今年度、静岡市の特徴が表れたいくつかの設問について、過去の分析結果をもとに、令和6年度以降、学校や教育委員会が行ってきた取組の成果や課題を報告させていただきます。

国語

①これまでの取組と成果

小・中学校の国語科において、「必要な情報を取り上げて書く活動を繰り返す」「学んだことを自覚したり使ったりする場を設ける」ことを授業改善のポイントとして取り組んできた結果、書くことに関連した問題の平均正答率が全国を上回りました。

	問題の概要	設問の趣旨	静岡市	全国	
小学校	文中の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	62.1	61.3	
中学校	読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる	34.6	31.0	正答率 (%)

②課題

小学校において、目的に応じて必要な情報を選び、条件に合わせて読み取ってまとめる問題の正答率が全国を下回りました。また、その問題の記述式回答では、無回答率が20.8%と全国を上回りました。

	問題の概要	設問の趣旨	静岡市	全国	
小学校	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる	53.6	56.3	正答率 (%)
			20.8	16.2	無回答率 (%)

③今後の取組

今後の授業改善として、目的に応じて必要な情報を取り出し、複数の内容をつなげて自分の考えをまとめ、記述することを繰り返したり、学んだことを使って読んだり表現したりする場を設けることに取り組んでいきます。

算数・数学

①これまでの取組と成果

様々なことがらを関連付けて考えたり、数学（算数）用語を使って説明したりする活動を授業に取り入れてきた結果、関連した問題の平均正答率が全国を上回りました。

	問題の概要	設問の趣旨	静岡市	全国	
小学校	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	54.3	50.2	
中学校	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる	47.2	42.5	正答率 (%)

②課題

問題解決の過程や判断の理由などを数学的な表現を用いて説明する問題について、平均正答率が全国を下回りました。

	問題の概要	設問の趣旨	静岡市	全国	正答率 (%)
小学校	$3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	21.4	23.0	

③今後の取組

用語等の意味の深い理解ができるように、数学（算数）用語など数学的な表現を使って友達に説明する活動に引き続き取り組んでいきます。また、問題解決の過程や判断の理由などが問われる問題に対処できるように、数学的な見方・考え方を働かせて、子どもが目的意識をもって活動できるような授業をデザインしていきます。

理科

①これまでの取組と成果

「理科用語の習得や概念を獲得するまでの過程の充実」を授業改善のポイントとして取り組んできました。中学校においては、取組の成果が見られました。

	問題の概要	設問の趣旨	静岡市	全国	正答率 (%)
中学校	抵抗に関する知識を手掛かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する	身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	89.6	85.2	

②課題

小学校理科においては、理科用語や概念の定着に引き続き課題が見られました。

	問題の概要	設問の趣旨	静岡市	全国	正答率 (%)
小学校	ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く	ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる	59.5	70.7	

③今後の取組

引き続き、理科用語の習得や概念を獲得するまでの過程の充実に取り組んでいくとともに、考察やまとめにおいて、理科的な表現を用いて記述形式で表現する場の設定などに取り組み、課題の改善を図っていきます。

5 児童生徒質問から見られた本市の教育施策に関する成果と課題

（1）これまでの取組と成果

①教職員を対象とした児童生徒理解に関する研修、校内サポートルームの充実、教育 DX の推進による子どもと関わる時間の創出、特別支援教育に係る支援員の増員等の施策に取り組んできました。【質問番号5】「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に小学生の 86.8%、中学生の 84.6%が肯定的に答えています。【質問番号6】「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に小学生の 88.9%、中学生の 90.1%が肯定的に答えています。子どもたちの表れが多様になっている中でも、教職員が子どもたちの良さを認め、居場所や活躍の場を創出してきていると考えられます。その結果、楽しく学校に通い【質問番号 12】、生活の中で幸せを感じる子どもが増えてきています【質問番号 15】。

今後も、誰もが幸せを感じながら生き生きと輝くことができるよう、多様性を尊重した取組を継続して推進していきます。

児童生徒質問			小学校				中学校			
質問番号	質問項目		R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
5	自分には、よいところがあると思いますか	静岡市	80.4	84.5	83.8	86.8	77.2	78.7	82.2	84.6
		全国	79.3	83.5	84.1	86.9	78.5	80.0	83.3	86.2
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	静岡市	84.6	87.1	86.6	88.9	82.8	84.2	88.1	90.1
		全国	87.1	89.8	89.9	92.2	86.6	87.3	90.4	92.2
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	静岡市	84.7	85.0	83.0	84.7	71.3	79.1	81.7	84.1
		全国	85.4	85.3	84.8	86.5	82.9	81.8	83.8	86.1
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	静岡市		90.5	92.0	93.4		86.9	88.8	90.9
		全国		91.0	91.7	93.0		86.8	89.8	91.6

②一人一台端末の継続的な整備と、ICT 機器を用いた授業づくり研修等で組織的な授業改善に取り組んできました。その結果、【質問番号 29-1、29-4】で見られるように、ICT 機器を活用した学びが日常に根付き、ICT 機器の活用スキルが向上してきています。

児童生徒質問

質問番号	質問項目		小学校	中学校
29-1	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか	静岡市	84.8	86.6
		全国	81.8	83.6
29-4	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか	静岡市	83.0	85.1
		全国	76.7	76.6

(2) 課題

①ICT 機器を活用して文章や資料を作成する技能は身につけてきましたが、【質問番号 31】で見られるように、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫した発表することについては課題が見られます。

②【質問番号 36】「学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という質問や【質問番号 37】「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」という質問についての回答は、小学校も中学校も全国を下回っています。学習したことを次の学習や実生活に結びつける経験が少ないため、自分が今何を学んでいるのか、何のために学んでいるのか等を自覚することに課題が見られます。

児童生徒質問

小学校

中学校

質問番号	授業に関する項目		R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
31	5年生(中学は1, 2年)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	静岡市	59.7	57.9	58.9	59.9	54.7	52.1	52.4	53.1
		全国	65.4	63.7	67.6	68.6	63.3	62.1	64.8	63.0
36	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	静岡市	75.9	75.0	76.8	76.1	70.0	61.9	72.2	67.2
		全国	78.2	77.4	80.8	79.4	74.7	69.2	77.9	73.4
37	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	静岡市			78.8	78.6			73.6	70.0
		全国			83.7	82.5			79.0	74.8

(3) 今後の取組

①ICT 機器の活用は引き続き推進していきますが、子どもたちが相手に伝える必要感を持てるような課題や場の設定をしていくことで、子どもたちが自分の考えがうまく伝わるように、伝え方を工夫して発表することができるような授業を目指していきます。特に、子どもが発表する場面では、子どもがどのように相手に伝えているのかを教員が見取り、評価し、必要な支援につなげ、子どもたちが「できた」と実感できるようにしていきます。そのために、継続して教員の研修を行い、授業力の向上を図っていきます。

②学びや学校生活における活動を子どもに委ね、学習したことを次の学習や実生活に結びつける経験を積み重ねていき、その時間で学んだことを振り返り、次の課題を見つける機会を増やし、さらに子どもの主体性を伸ばすような授業づくり、学校づくりを推進していきます。

担当：学校教育課(054-354-2521)